

事業性評価 研究会のご案内

1. 沿革

当研究会は平成 24 年度から診断技術研究会として発足。「作り易く、見やすい」診断技術の在り方について研究を始めました。平成 29 年度からは事業性評価研究会と名称を改め、「非財務項目の見える化」をめざして研究をはじめた。

2. 調査・研究テーマ

中小企業庁・金融庁の「ローカルベンチマーク」があるが、実践的には中小企業の事業性評価を判断する際に「財務項目」については明確な指標が出しやすく、レーダーチャートなどで「見える化」ができていたが「非財務項目」については評価しにくい面がある。

本来中小企業の経営診断や事業性評価においては業種別・規模別にそれぞれ重視すべきポイントが異なっており、一つのチャートですべての業種・規模の事業性評価を行うには難しい面がある。

そこで業種別・規模別にフォーマットを作成し、中小企業の経営実態の中でも非財務項目について「見える化する」ことを目指し、業種別・規模別に質問項目を設け、経営者及び診断士それぞれが○△×の評価をつけることでその企業の「非財務項目評価の見える化」を明確にし、その結果を経営者との対話を基に「経営者の腹落ち」した伴走型支援につなげるための業種別・規模別手法の研究を行っている。

3. 実績

(1) 現在 7 部門 20 種以上の評価表が出来ている

(2) 令和元年に中小企業診断シンポジウム（東京）において研究発表を行い、「中小企業基盤整備機構長賞」を受賞、各地の診断協会理論政策研修にて発表した。

(3) 福岡県信用保証協会と共同で研究を行っていたが、コロナで中断し、令和 8 年度から再開する。

4. 会の運営方式

(1) 日程：原則として毎月第 4 土曜日 10：30 より

(2) 場所：有限会社エムケイブレーション事務室と ZOOM によるハイブリッドで開催

(3) 会則：

(4) 会員：24 名

(5) 連絡先：会長（榎本健次：kmakimoto@mkbrain.co.jp）

または 事務局 大江 誠二（ooe.seiji@sky.plala.or.jp）